

「やってよかった」 教室・講座の新入生

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

新年、明けましておめでとうございます。今回は公民館の開催する教室・講座に今年度初めて参加された方々から素朴な感想等を投稿して頂きました。日頃、何かやってみたいと思われている読者の皆さん、ぜひ、公民館へ気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。

① 五名の方に次のことをお伺いいたしました。
② 今後、期待すること

祖父母と孫の 学級に参加して



保科伴子さん (舟戸)

① 「おばあちゃん、一緒に行ってくれる？」と二年生の孫の一言で五才の妹も仲間に入れてもらって今年はじめに参加させてもらいました。第一回は「自己紹介・似顔絵描き」からはじまり「ミニ運動会」「七夕」「料理作り」「本の読み聞かせ・昔話」「ぶどう狩り」等楽しいことが沢山ありました。孫も大変喜んでまた、来年も参加するとはりきっています。

(乳幼児家庭教育学級) ひよこ学級に 参加して



高橋祐佳子さん (小須戸)

① この度、「ひよこ学級」に参加して、こんなに楽しく過ごせるとは思いませんでした。子供の遊び場だけではなく、親同士の情報交換の場として、地元の間も出来、とても良い経験となりました。家の中で過ごすよりも「ひよこ学級」という場を利用して、親子共々楽しい時間を過ごせたいと思います。② 今後期待する事としては、

県立新津南高等学校「学校開放講座」に参加して



川瀬千恵さん (新保)

① 社会勉強と、ほけ防止のつもりで学校開放講座に仲間入りさせて頂きました。講座の中で特に心に残ったのは「豊かな人間らしい生活とは」というテーマです。科学技術の進歩により物質的な生活の向上や便利さも大事ですが私は趣味を生かした生活で、健康で自立できるようにと心がけております。

② 何年もこの講座に参加されてるい方が多い中で私ごとき一年生が言うことでもないのですが、希望としては美術館の見学を1・2回程度して頂けたらと思っています。また、時間の制約もありますが、友達づくりもかねて参加しましたので、参加者同志の話し合いの場があったらいいと思いました。

ちょこっと一言 (214)

思うこと
北海道に十五才まで育った私は、冬の吹雪が大好きです。今でも横なぐりの風と雪が吹き荒れて、目も口も開けていられないなんていうと、体中から力がわきあがる気がします。そんな厳しい日もありませんが、ほとんど眩しいくらいに青空でした。地平線まで見たせる景



小須戸
青木淳子さん

色はちやうど蒲原平野とそっくりです。空が広く田畑がどこまでも広がる開放感あふれる景色を見られる事が、この小須戸に住んで何より幸福なことです。故郷の美しい景色は、今では開発が進んでまるで変わってしまったそうです。この小須戸の、自然がいっぱいの美しい風景をズーツと変わらせずに、子供や孫達に残して行く事ができれば、どんなに幸福なことでしょう。

初心者ハーブ 教室に参加して



風間幸子さん (小須戸)

① 数年前、喫茶店での一杯のハーブティが忘れられずにいた。昨年思いがけず「ハーブ教室」開催に友人を誘って参加し、その奥深さに感心した。その後、文化祭で「ハーブ喫茶」を開くお手伝いをさせて頂いた。意欲的で素晴らしい先生と友人達。それぞれの持ち味で知恵を出し合い初体験の開店となった。成功？人との出合いの楽しさに感

親子チャレンジ 教室に参加して



大野 恵さん (小須戸)

① 今年度から「親子チャレンジ教室」に参加させて頂きました。毎回楽しい活動に親子共々ワクワクしながら参加しました。どれも初めての体験で、子供は目を輝かせて熱中していました。そんな様子を見るのが嬉しかったです。特に「流しそうめん」の時は、大きな竹を割って組み立てたり、お椀や箸を作ってみんなで食べた事が心に残っています。また来年度も参加したいと思います。

犬のイラスト
恭賀新年
本年もよろしくお願ひ申し上げます。
小須戸地区公民館 地区公民館運営審議会 館報編集委員会 図書委員会 地区公民館4分館

声の広場

みなさんの投稿コーナー

「砂井正七」講演会を聴いて

何年前かに、新潟日報に「越佐の埋み火」(*)が連載されていたのが記憶にあります。

昨年八月に「砂丘館」に「砂井正七遺作展」があり、数人で観に行きました。

砂井正七は、岸田劉生に傾倒し、草土社の影響を受け、大正時代に独学で、油絵を勉強されたとのこと、力強い重量感のある自画像が印象的でした。

十二月九日に公民館で大倉宏さん(美術評論家)の講演会があり、砂井正七と同時代の美術史を、岸田劉生中心に八十枚のスライドを観賞させて頂きました。当時東京より遠く離れた地にありながら、直接岸田劉生に弟子入りをして、願した話など、一途さを感じました。また越佐の埋み火の



美術評論家 大倉 宏さん(砂丘館館長)

予 告

アスベスト工事による休館のお知らせ

今回、新潟市の施設等調査により当公民館において基準値以下ではありますが、アスベストの含有が確認されました。ついでには除去工事のための施設を休止しなければならぬとなります。時期等は未定の段階ですが、利用される皆様には大変ご迷惑をおかけします。ご理解の程よろしくお願い致します。【工事による休館日】現段階では、未定 ※決定しだい、公民館報等で再度ご連絡致します。

公民館主催の教室・講座ご案内

◎おはなしのせかいへ

日時 一月二十一日(土) 午前十時半から

会場 ふれあい会館(和室)

対象 幼児から大人まで

読み手 おはなしほけつと

◎来月の予定

日時 二月十八日(土)

会場 ふれあい会館(和室)

◎小須戸吹奏楽団

【第二回演奏会】

日時 一月二十二日(日)

午後二時開演

会場 小須戸地区公民館三階ホール

曲目 「名探偵コナン」

「アンパンマンのマーチ」

「ハウルの動く城テーマ」

「日本愛唱歌集」他

入場料 無料

問合せ先 小須戸地区公民館

◎「書道パフォーマンス展」

昨年の十一月に開催された小須戸地区市民展での一環、書道パフォーマンスで製作された作品の巡回展を行います。

地元書道家(菊地閑月氏・間野江里氏)の作品をどうぞ、ご鑑賞ください。

【さすなの家(小向)会場】

会期 一月二十四日(火)～

二月一日(水)まで

【福祉センター(大川前)会場】

会期 二月七日(火)～十五日(水)まで

【ふれあい会館(矢代田)会場】

会期 二月二十一日(火)～

三月一日(水)まで

※詳細については、地区公民館まで

県外からの視察

11月9日と11月24日の両日、我が地区公民館に富山県と長野県からはるる視察研修に来られました。

研修参加者は各公民館の正副館長や公民館主事等です。研修内容は公民館活動や公民館報についてです。

研修会では形式にとらわれない自由な雰囲気の中で終了しました。

研修会では終了後も、大正琴の演奏でおもてなし



大正琴の演奏でおもてなし

研修後の「礼状」ご紹介

【前略】特に、小須戸公民館報が六〇〇号も継続発行されていることには、大変驚きました。地区の公民館活動に対する期待と、それに十分に応えようとする職員熱い思いがその力となっていることを実感しました。また、県立新潟高等学校との学校開放講座や祖父母と孫の学級など、様々な取り組みが充実しており、伝統ある事業と時代のニーズに応えた斬新な事業とが上手にミックスされており、佐藤館長様の強いリーダーシップの賜だと参加者全員、感心して聞き入っていました。小須戸地区公民館の先進的な取り組みを参考にさせていただきます。これから公民館活動推進に努力していきたいと思っております。(富山県入善町公民館)

ジュニア展 入選おめでとう

特 賞

中学校三年の部



高橋成美さん (小須戸) 「車 輪」

地面と自転車の色のちがいがわかるように地面に緑などの色をくわえたところを工夫しました。始めて真剣に描いた風景画です。



【審査員の選評】 普段、自転車の部分を凝視することはありません。あったにせよこの映像の魅力は作者の観察眼の初々しさと重なり。

第三十六回県ジュニア美術展覧会の中学校三年の部で、高橋成美(上記写真参照)さんが、見事、最高位である特賞を受賞されました。

また、わが小須戸地区から次の方々が入選されました。

【優秀賞】▽小学校二年の部

高山拓海(小須戸小学校)

【奨励賞】▽幼稚園・保育園の部

うちやまりお(小須戸幼稚園)

▽小学校三・四年の部

今林千尋(小須戸小学校)

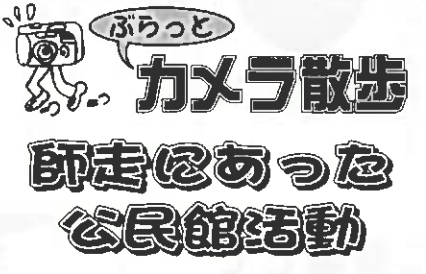
▽小学校五・六年の部

太田栄優(小須戸小学校)

板井雅憲(小須戸小学校)



やった～！チビッコ門松づくり



大学生のお姉さんと遊ボ



なるほど！ソバの切り方



大学生のお姉さんと遊ボ

にいかた市民文学 入選作品の紹介

【短歌部門】

入選 坂井隆思さん(新保)

廻しつ首を嵌め込む堀こけし

日昇りて生命うまるる

入選 渡邊正一郎さん(新保)

遠山に雪のくる日は風乾き

あかさね嘆く母を思へり

入選 馬場綾子さん(小須戸)

産み月の母は小高き丘に立ち

出征しゆく夫見送りき

入選 大貫松次郎さん(新保)

植木職に十二種の地下足袋は

老いたる今も足に馴染みて

入選 大森美恵子さん(矢代田)

部屋の戸の西側あけて夕暮れの輝よう空を姑に見せしむ

シリーズ 「今、子どもたちは」(112)

寒さに負けないぞー！ 矢代田小学校

本格的な冬がやってきました。矢代田の子どもたちは元気いっぱいです。冬でも晴れば外でサッカー。雨でも中で鬼ごっこ、なわとび等、所狭しと元気に遊んでいます。矢代田小学校では、この時期、体育館に固定鉄棒を設置し強調月間を設けて取り組んでいます。鉄の感触が冷たい時期でも子どもたちは行列を作っているいろいろな技に挑戦しています。この寒い時期でも鉄棒は人気があります。矢代田の伝統らしい。その甲斐あって鉄棒運動を嫌がる子どもはあまりいません。

いろいろな種目もみんなと練習すると楽しく、互いの教



寒さに負けず！元気いっぱい

文芸欄

親光園あちらこちらの落葉掃き 須藤恵美子

甲高い剣児の気合い寒の入り 牧野信雄

断小屋の山古志村の冬景色 長井武雄

紅葉山沈めて碧き阿賀の川 藤井 春

笑顔にて嫁く娘を送る十一月 藤井ハルエ

万丈のひときは高き木守柿 馬場綾子

天折の画家の自画像もがり笛 間野えり

早々と寒波居座る越後かな 吉澤文字

登校日下校の時刻パトロール 田沢 弘

出番前そわそわしたす控え室 高橋ただし

おしゃやれして心機一転グルメ旅 保科志枝

初デートそわそわしてる耳飾り 藤井春江

看板にママのウィンク気を持たせ 能登としお